

新基地建設反対名護共同センターニュース

埋め立て不承認求め 具志堅さん再びハンスト



県庁前で2度目のハンスト決行中のテント内で宗教者や市民の前で挨拶する具志堅さん（写真左、写真上は右端）。「いまだ遺骨が見つからない」という遺族も多数駆けつけ署名をし、カンパを寄せていました。赤嶺政賢衆院議員が挨拶しました。（19日、県庁前）

具志堅さんは「南部に眠る戦没者の遺骨は開発業者の所有物ではありません。遺族の物です。5年前の国会で成立した戦没者遺骨収集推進法は、厚生省がDNA鑑定もし、沖縄戦の戦没者から国の責務として遺骨を収集することを決めている。国はすべての遺骨を遺族に返す責務があります」と話しました。

具志堅さんらは3月にもハンストを実施し、沖縄県議会など多くの自治体で「遺骨混じりの土砂を埋め立てに使うな」との意見書が採択されるなど世論を大きく動かしてきました。

戦没者の遺骨はすべて国が収集し、DNA鑑定で遺族に返す責務がある

「海上チームが全国を励ましています」赤嶺氏が挨拶

赤嶺政賢衆院議員は19日、名護市辺野古のヘリ基地反対協・海上チームの事務所（テント2）で抗議船の船長やカヌーチームのメンバー15人ほどを前に激励しました。当初、この日の海上行動に合流し抗議船から辺野古新基地現場を視察する予定でした。しかし、雷雨注意報が出されたため海上行動が中止になりました。このため同チームのスタッフを前に挨拶をしたものです。

「皆さんの頑張りが全国を励ましています」

赤嶺氏は、改憲手続法や土地利用規制法、オリパラなど悪政推進の菅政権を批判し、「しかし、安倍首相の2020年までに改憲の企みを市民と野党の共闘で阻止してきた。秋までに必ずある衆院選挙で「オール沖縄」の4候補全員勝利など野党共闘を発展させ政権交代を実現し、辺野古新基地を中止させましょう。現場での皆さんの頑張りが全国を励ましています。私もまた駆けつけます。引き続き共にたたかきましょう」とあいさつしました。



テント2で挨拶する赤嶺氏（左から2人目）

違法捜査でパソコンなど押収された宮城さんへ支援カンパの訴え！

チョウ類研究家の宮城秋乃さん（写真）が6月4日、沖縄県警によって東村の自宅が不当に家宅捜査され、活動に必要なタブレット端末やパソコン、ビデオカメラなどが押収されました。違法な捜査で活動を妨害された宮城さんへの緊急カンパを支援者が呼びかけたので紹介します。（当ニュース前号参照）

【振込先】

※ゆうちょ銀行から送金の場合
記号：17030 番号：18520051
口座名義：ミヤギ アキノ
※他金融機関から送金される場合
店名：七〇八（ナナゼロハチ）
普通預金 口座番号：1852005



埋立予算をコロナに回せ！

ゲート前の監視活動は少人数で続けています。「違法工事は中止せよ」などのパネルを掲げています。「スガ君埋立予算コロナに回せ」ののれんが共感を呼んでいます（6月17日、午前9時）。